

セッション4

発表者：株式会社 KEI アドバンス取締役 坂田拓光、立命館アジア太平洋大学副学長 米山裕

参加人数：対面 13 名 オンライン 10 名

テーマ：「大学のグローバル展開での世界大学ランキングとの付き合い方及び APU の取組事例について How to Promote Your Institution to a Global Audience by Leveraging the World University Rankings: APU Case Study」

このセッションでは、はじめに KEI アドバンス (KEI) の坂田氏より、KEI が QS 大学ランキングとのパートナーシップで得られた知見をもとに、2023 年度版 QS 世界ランキングの概況、日本の大学のランキング状況、各国政府の人材獲得でのランキング活用状況、国費留学での活用状況、日本国内大学の志願者動向について、各国のトレンドや各種分析結果などが報告された。イギリスやオランダにおけるランキング内大学出身者に対するビザ優遇措置の事例報告では、ランキングを活用することで将来に就職活動に有利となることを国際的な学生獲得の PR 材料として活用できることが紹介された。大学がランキングにどう向き合うかという課題に対して、ランキングが目的化しないよう何かを達成するための手段であるべきものというポイントが示された。

セッション後半では、立命館アジア太平洋大学 (APU) の米山氏より、APU の概略、ランキング参加の経緯、学内での議論が紹介された。ランキングに参加することでランキング参加校のコミュニティに加わるといったメリットが示されると同時に、ランキング上位に行くためにはつながりのある世界の大学や研究者からのピア評価によって好意的に評価されることの重要性が指摘された。また、ランキングに参加するための大学コストを正当化するだけの大学の戦略と組織的な体制づくりの重要性が説明された。

最後に、ランキング活用戦略に対する学内の教職員の理解促進や反発への向き合い方について APU の事例への質問が出されるなど活発な質疑が行われた。

以上

南山大学国際センター事務室 大澤優隆 作成